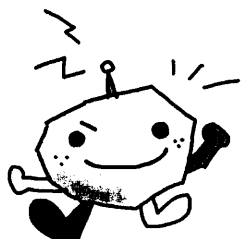


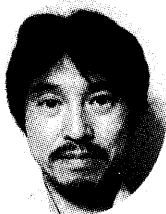
七友会 だより



Iwate
University
岩手大学

目次

30周期	1
評議員会報告	2
平成21年度事業報告	2
平成21年度会計決算報告	3
監査報告	3
平成22年度事業計画	4
平成22年度会計予算	4
会則改正文	5
役員改選	6
岩手大学同窓会連合	6
藤原暉記念「日本学の集い」を開催して	7
「第3回 卒業生、修了生と学長との懇談会」を開催	7
学部の動き	7
会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい	8
同窓会設立30周年記念行事について	8
第2回 岩手大学ホームカミングデイ	8



30周期

七友会30周年記念同窓会 実行委員長 足立 慎悟

6月初旬、定例の同窓会評議員会を終えた翌朝、20数年来の友人であるKと僕は盛岡にいた。

駅のロッカーに荷物を預けた僕は、たいした目的もなく岩大に向かった(正確を記するなら、上田通のD模型店に行きたいというKの強い要望があったのだが)。駅前通りを北上し旭橋を渡って上田方面へ、既に無くなったランドマークや昔のままの冷麺屋、姿を変えて生き残った甘味処などを着て些末な思い出話を咲かせながら。

出身でもあるKの提案で、胡乱な中年2人組は盛岡第一高等学校の門をくぐった。驚愕するK。校舎がまるで変わっていたらしい。建物も配置も。ひと通り敷地を巡り衝撃と興味を覚えた僕は、学生時代通いなれたさまざまな通りを、答え合わせでもするように順を追って歩き始める。上田通、映画館通、中央通、上の橋、肴町、大通、菜園……。よく晴れた初夏の日射しの下、僕らの意識と体験は20数年前の盛岡と現代のそれとをふらふら彷徨い続けた。

来る2011年は、七友会の30周年にあたる。岩大入社の最初の卒業生が出てから30年経ったという訳だ。

30年といえば、オギャーと生まれた赤ん坊が会社勤めで早や数年、そろそろ本気で身を固めるか、はたまたつまらん恋などもう辞めて、独立独歩フリーの仕事への専念を決意するか、いやいや既に子供も小学生、地に足つけた生活こそが生き甲斐よ、とまあそんな時間である。我が国の宰相なら鈴木善幸氏から菅直人氏まで、実に18人を数える(9月初旬現在(笑))。一期生が卒業と同時に建てた家の30年ローンが終わる時期かもしれない。これはそれなりの歴史があったしかるべきかなりの期間といえよう。

とはいえ、盛岡師範学校開創の1876年は比較にならないにしても、工学部・農学部・学芸学部(現在の教育学部)が出揃った岩手大学創設の1949年から考えても約半分、かたや還暦を過ぎた年月が相手となれば、30年などまだまだひよっ子である。実際8月7日に仙台で行われた同窓会連合の会合でも、我々が人社同窓生は齢70を超える他学部同窓生のお歴々が並ぶ中ではまるっきり事務局顔、貴族など欠片も無い。

さて、そんな我等が七友会、現在構成する主なメンバーの卒業年次は1980年台前半。10期以降の若いメンバーが異常に少ない。7期(1987年卒業)である僕自身、定期的に盛岡に行けるという理由で同窓会活動に参加してからかれこれ20年近く経つのだが、その間に加入してくれた新人は数えるほどで、未だ若手扱いだ。まったくもって困ったものである。発足30年でこの先細り状態では今後の存続も危ういのではないかと思ったりさえする。

だが考えてみれば我々の主力である1期生もまだ50歳そこそこ、社会における勤労の立場も未だ現役だ。そんな彼等が筆頭なのだから、さらに若い(自分を含め)社会人としても家庭人としても余裕の少ないバリバリの世代に同窓会というある意味非生産的な活動へのリソース提供を期待するのは無謀、というのが正しいものの見方なのだろう。そういう意味で、我々の七友会が他学部の同窓会と同じように活発に動き始めるのは、むしろ次の10年からのなのかもしれない。

この30年で盛岡の環境は大きく変わってきた。新幹線が開通し、都南村が併合され、なにもなかった盛岡駅西口にも大規模開発の波が押し寄せ大きく変貌した。岩大を巡る状況も同様に、1990年の人社大学院設置、2004年の国立大学法人化など小さくないうねりの中にある。今後の先行きははなはだ不透明な部分もあるものの、先日の仙台での副学部長の言葉によれば、例えば行動科学コースひとつとっても10年前20年前に比べカリキュラムも社会への有用性も大きく進歩しているらしい。同コースを卒業した身としては大いなる自責とともに、なにがしか誇らしい気持ちさえ感じたりする。

僕は思う。僕ら同窓生は、自分たちのある種のルーツである岩手大学をもう少し意識するのも悪くないんじゃないだろうか。そして、ともにあった仲間たちを思い出してみてもいいのではないかと。10年経った者は懸命に過ごした社会人生活にひといきをつき、20年選手は忘れていた何かを蘇らせることで新たな活力を探し、30年経たベテランたちは来るべき次のライフステージをより良く過ごすキッカケとして。

来年7月、僕ら七友会は30周年記念同窓会を企画する。ひとつでも多くの再会を演出するネタになればと、切に願って。詳細はホームページ(<http://jinsya.com>)やツイッター(<http://twitter.com/shichiyukai>)、facebook(<http://bit.ly/d0PlwX>)などでおおいリリースする予定である。ご興味のある方は、是非ともこれらのソーシャルメディアで僕らにひと声かけてみて欲しい。新しいアイデアが共に生み出せるかもしれない。

2011年7月、皆さんと再び繋がることを楽しみにしている。

平成23年7月2日(土)
30周年記念交流会開催!
事前申込 受付中

● 評議員会報告

平成22年度評議員会は、平成22年6月12日（土）、盛岡市のアイーナにおいて開催されました。会長あいさつの後、ただちに議事に入り、まず平成21年度事業報告及び会計決算報告について審議されました。昨年度は同窓会連合の設立や岩手大学創立60周年記念事業等への出席などで旅費支出が多かったため、例年に比べて繰越金が少なくなりました。そのため、平成22年度では会議費や積立金について充分考慮することが提案され、監査報告とともに了承されました。

次に平成22年度事業計画案と会計予算案について審議されました。今年度は平成23年度に開催予定されている「同窓会設立30周年記念事業」にむけての会議等があるため、特別会計の「同窓会設立30周年記念積立」より一般会計へ繰り入れることで予算化することになりました。なお、特別積立等はおこなわないことになりました。また、同窓会連合の設立にともない、今まで組織化されていなかった人文社会科学部研究科の院生及び修生を、他学部同窓会にあわせて七友会に組み入れるための会則改正も行われました。役員改選では全員が再任されるとともに、新たに佐藤泰氏、尾野澤章子氏の2名が理事に選ばれました。

最後に、「同窓会設立30周年記念事業」について話し合われました。前回の会議では記念講演と記念交流会の2つを行う方向で検討されていましたが、講演予定者の都合がつかない事や開催主旨の再検討などもあり、主要行事は記念交流会のみとし、時間を延ばして恩師や同窓生との親睦を主眼とすることになりました。また、県外の会員が多いことを考慮して、今回も参加者への補助を行うことになりました。評議員会出席者は22名でしたが、終了後の懇親会でも熱い話し合いが続いていました。

● 平成21年度事業報告

平成21年度は「同窓会設立30周年記念行事」の準備として企画会議や実行委員会を開き、検討してきました。地元盛岡からの積極的な参加が少なく、運営上での不安もありますが、少しずつ具体化しています。

また、懸案となっていました「岩手大学同窓会連合」が平成21年6月1日に設立され、大学と各学部同窓会が一体となった活動がようやく歩み始めました。

こうした様子は年2回発行の会報「七友会だより」でも随時お知らせしていますが、相変わらず転居先不明が後を絶たず、現在、会員の半数ほどにしか届けられておりません。「同窓会連合」のような活動が盛んになるにつれ、事務機能の強化が急務となっています。

平成21年度のおもな活動は次の通りです。

平成21年	4月25日(土)	平成21年度評議員会（アイーナ702会議室15名出席） 議題：平成20年度事業報告・決算報告・監査報告 平成21年度事業計画（案）・会計予算（案） 岩手大学同窓会連合（仮）設立について その他
	4月27日(月)	ホームカミングディ学部実行委員会 同窓会より佐原会長が出席
	5月11日～	ホームカミングディにおける七友会紹介パネルの作製について 佐原会長・松岡理事
	6月1日(月)	岩手大学同窓会連合（仮）設立準備委員会・同窓会連合第1回理事会 佐原会長、松岡理事が出席（教育学部1号館会議室） 岩手大学同窓会連合設立記念式典・記念講演会 佐原会長、大志田、遠藤、松岡、足立、尾形、内堀が出席
	6月8日(月)	ホームカミングディ学部実行委員会 同窓会より佐原会長が出席
	6月13日(土)	岩手大学創立60周年記念行事・ホームカミングディ 学部懇談会、記念講演会、パネル展示等
	6月14日(日)	同窓会設立30周年記念事業企画会議・理事会（アイーナ808会議室15名出席）
	8月21日(金)	会報『七友会だより』第29号発行・会員へ順次送付
	10月23日(金)	岩手大学同窓会連合第2回理事会 議題：新規事業計画等について その他 佐原会長、松岡理事が出席
	11月7日(土)	同窓会設立30周年記念事業実行委員会（サンビル第5会議室12名出席）
	11月9日(月)	事務長との打ち合わせ（佐原会長） ・3号館工事に伴う卒業記念樹の件について他
	11月15日(月)	菊池誠先生葬儀・弔電 同窓会より大志田理事が葬儀へ参列
	12月15日(火)	就職ガイダンス（中央学生食堂にて） 大志田理事と同窓生4名が出席（全体約70名） 同窓生：菊池美歩さん、佐藤智也さん、佐藤啓之さん、佐々木裕人さん
平成22年	2月15日(月)	岩手大学同窓会連合拡大運営委員会（大学本部にて） 議題：ロゴマークについて その他 コミュニティ・ネットワークシステムについて その他 佐原会長、松岡理事が出席
	3月	退官教官へ記念品贈呈 退官：小林英信先生
	3月19日(金)	会報『七友会だより』第30号発行・会員へ順次送付
	3月23日(火)	岩手大学卒業式（岩手県民会館にて） 卒業記念祝賀会（中央学生食堂にて） 同窓会代表として佐原会長、足立副会長、大志田理事が出席

平成21年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算報告

1. 一般会計

<歳入>

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
前 年 度 繰 越 金	2,188,301	2,188,301	0	普通預金 (1,284,023円、定期預金 (904,278円)
会 費	4,600,000	4,120,000	△ 480,000	20,000円× 206名
特 別 会 計 よ り 繰 入	0	0	0	
雑 収 入	5,155	68,251	63,096	利息 (3,336円)、同窓会連合より郵送料超過分 64,915円
計	6,793,456	6,376,552	△ 416,904	

<歳出>

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
1. 事 業 費	3,850,000	3,508,251	341,749	
1) 会 報 発 行 関 係	1,500,000	1,115,425	384,575	
ア. 会 報 等 印 刷 費	800,000	551,565	248,435	会報2回印刷 (No.29 3,700部、No.30 3,600部)
イ. 会 報 等 郵 送 費	700,000	563,860	136,140	会報郵送費
2) 会 員 活 動 援 助 費	400,000	642,320	△ 242,320	評議員会宿泊補助、就職懇談会補助、同窓会連合設立式典関係等
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	0	30期分積立
4) 支 部 援 助 費	600,000	604,570	△ 4,570	関東支部HP維持管理運営費、30周年記念事業企画会議関係 (11月)
5) 文 化 事 業 補 助	200,000	30,631	169,369	ホームカミングディ補助
6) 寄 付 金	500,000	500,000	0	人文社会科学部へ奨学寄付金
7) 学部創設30周年記念事業負担金				
8) 同窓会連合 (仮) 負担金	500,000	500,000	0	平成21年6月1日発足
9) 諸 費	50,000	15,305	34,695	退官教員への記念品、弔電等
2. 会 議 費	900,000	763,480	136,520	
1) 評 議 員 会 会 議 費	500,000	419,180	80,820	評議員会諸経費 (4月開催) 等
2) 諸 会 議 費	400,000	344,300	55,700	30周年記念事業企画会議 (6月開催) 関係等
3. 事 務 費	800,000	641,930	158,070	事務用品、データ管理・HP協賛金、パソコン更新等
4. 特 別 積 立 金	400,000	400,000	0	
5. 雑 費	100,000	100,000	0	事務謝金
6. 学部設立40周年記念積立	300,000	300,000	0	
7. 同窓会設立30周年記念積立	300,000	300,000	0	
8. 返 還 金				
9. 予 備 費	143,456	0	143,456	
計	6,793,456	6,013,661	779,795	

平成21年度収支決算

歳 入 合 計 6,376,552円
 歳 出 合 計 6,013,661円
 差引残高 (翌年度繰越) 362,891円

2. 特別会計

<歳入>

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
1. 前 年 度 繰 越 金	45,853,832	45,853,832	0	
2. 新 規 積 立 金	1,100,000	1,100,000	0	
3. 利 息	133,314	136,427	3,113	
計	47,087,146	47,090,259	3,113	

<歳出>

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
1. 一 般 会 計 へ 繰 出	0	0	0	
2. 積 立 金	47,087,146	47,090,259	3,113	年度末積立金額=翌年度繰越額
1) 特 別 積 立 金	28,494,979	28,496,130	1,151	利息 (86,459円)
2) 卒 業 記 念 積 立 金	3,262,708	3,262,990	282	利息 (8,833円)
3) 学部設立40周年記念積立	7,376,893	7,377,733	840	利息 (19,764円)
4) 同窓会設立30周年記念積立	7,952,566	7,953,406	840	利息 (21,371円)
計	47,087,146	47,090,259	3,113	

監 査 報 告

平成21年度、岩手大学人文社会科学部同窓会決算書について、本決算会計は適正であることを証明いたします。

平成22年6月12日

監査員 小 松 山 修 ㊞
 監査員 工 藤 康 身 ㊞

平成22年度事業計画

今年度は、平成23年度に予定されている「同窓会設立30周年記念事業」の準備に全力を傾注していきたいと思います。そのために、今年度から「同窓会設立30周年記念事業費」を予算化し、活動しやすくします。そして実行委員を中心に会報やホームページを活用しながら、より多くの会員が楽しく参加できる内容にしていきたいと思います。

また、同窓会連合等の活動を考慮し、事務機能のあり方を検討したいと思います。

平成22年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計予算

1. 一般会計

<歳入>

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	362,891	普通預金のみ
会 費	4,600,000	20,000円×230名
特 別 会 計 よ り 繰 入	2,000,000	同窓会設立30周年記念積立より、30周年記念事業費として繰入れ
雑 収 入	3,336	利息
計	6,966,227	(4,966,227+2,000,000)

<歳出>

科 目	予 算 額	平成21年度予算額	備 考
1. 事業費	5,650,000	3,850,000	
1) 会報発行関係	1,500,000	1,500,000	会報発行(2回予定)
ア. 会報等印刷費	800,000	800,000	
イ. 会報等郵送費	700,000	700,000	
2) 会員活動援助費	400,000	400,000	親睦会・交流会等
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	31期分積立
4) 支部援助費	500,000	600,000	関東支部(ホームページ維持費)、仙台支部他
5) 文化事業補助	100,000	200,000	
6) 寄付金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 同窓会連合負担金	500,000	500,000	年間会費分
8) 同窓会設立30周年記念事業費	2,000,000	0	
9) 諸費	50,000	50,000	慶弔費
2. 会議費	600,000	900,000	
1) 評議員会会議費	500,000	500,000	評議員会諸経費
2) 諸会議費	100,000	400,000	
3. 事務費	500,000	800,000	事務用品、データ管理費、ホームページ協賛金等
4. 特別積立金	0	400,000	
5. 雑費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学部設立40周年記念積立	0	300,000	
7. 同窓会設立30周年記念積立	0	300,000	
		0	
8. 予備費	116,227	143,456	
計	6,966,227	6,793,456	

2. 特別会計

<歳入>

(単位 円)

科 目	予 算 額	平成21年度予算額	備 考
1. 前年度末繰越金	47,090,259	45,853,832	
2. 新規積立金	100,000	1,100,000	卒業100,000円、特別0円、学40周0円、同30周0円
3. 利息	136,427	133,314	
計	47,326,686	47,087,146	

<歳出>

科 目	予 算 額	平成21年度予算額	備 考
1. 一般会計へ繰出	2,000,000	0	
2. 積立金	45,326,686	47,087,146	(45,090,259+100,000+136,427)
1) 特別積立金	28,582,589	28,494,979	(28,496,130+86,459)
2) 卒業記念積立金	3,371,823	3,262,708	(3,262,990+100,000+8,833)
3) 学部設立40周年記念積立	7,397,497	7,376,893	(7,377,733+19,764)
4) 同窓生設立30周年記念積立	5,974,777	7,952,566	(5,953,406+21,371)
計	47,326,686	47,087,146	

岩手大学人文社会科学部同窓会（七友会）会則改正文

第1章 総 則

- 第1条 本会は、岩手大学人文社会科学部同窓会と称し、通称を七友会とする。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦と母校の隆盛を図り、社会の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業をおこなう。
- 一 会員相互の連絡並びに互助に関する事項
 - 二 母校との連絡に関する事項
 - 三 会報の発行
 - 四 その他、本会の目的を達成するために必要と認める事項
- 第4条 本会は、事務局を岩手大学人文社会科学部内に置く。
- 第5条 本会は、必要に応じて各地区に支部を置くことができる。
- 2 支部規則は、各支部において定める。

第2章 会 員

- 第6条 本会の会員は、次のとおりとする。
- 一 正会員 岩手大学人文社会科学部を卒業した者又は岩手大学大学院人文社会科学研究科を修了した者
 - 二 準会員 岩手大学人文社会科学部に在学した者又は岩手大学大学院人文社会科学研究科に在学した者（卒業、修了後は正会員となる。）
 - 三 特別会員
 - (一) 岩手大学人文社会科学部教職員
 - (二) 岩手大学人文社会科学部の教職員であった者で、評議員会の推薦を受けた者
 - 四 名誉会員 正会員のうち、本会に対して特に功績があった者で、評議員会の推薦を受けた者

第3章 役 員

- 第7条 本会に次の役員を置く。
- 一 会 長 1 名
 - 二 副会長 若干名
 - 三 理 事 若干名
 - 四 評議員 第8条2項の規定による
 - 五 監査員 2 名
 - 六 幹 事 若干名
 - 七 会 計 2 名
- 第8条 会長、副会長、理事、監査員及び会計は、評議員会において、正会員の中から選出する。
- 2 評議員は、正会員の中から卒業・修了年次ごとに数名並びに各支部代表者1名を充てる。
 - 3 幹事は、岩手大学人文社会科学部在職の会員の中から会長が委嘱する。
- 第9条 役員の任務は、次のとおりとする。
- 一 会 長 本会を代表し、会務を総括するとともに、評議員会及び理事会を招集して、その議長となる。
 - 二 副会長 会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
 - 三 理 事 理事会に属する事項を処理し、本会の運営にあたる。
 - 四 評議員 評議員会の構成員となり、本会運営事業の審議にあたる。
 - 五 監査員 本会の会計を監査する。
 - 六 幹 事 会長の命により、会務を処理する。
 - 七 会 計 本会の会計を処理する。
- 第10条 役員の任期は2年とし、重任を妨げない。ただし、任期満了後にあっても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。
- 2 役員に欠員が生じて補充された者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 第11条 本会に、会長の諮問に応ずるため、顧問を置く。
- 2 顧問には、次の各号に掲げる者を委嘱する。
 - 一 岩手大学人文社会科学部長
 - 二 会長の職にあった者
 - 三 その他評議員会の推薦を受けた者
- 第12条 本会会務の実務を処理するため、事務局に職員を置くことができる。
- 2 職員は、会長が任免する。

第4章 会 議

- 第13条 本会の会議は、評議員会及び理事会とする。
- 第14条 評議員会は、本会の最高決議機関として、会計年度終了後3カ月以内に開催する。
- 2 臨時評議員会は、会長が必要と認めた場合、又は評議員の3分の1以上から請求があった場合に開催する。
- 第15条 評議員会は、次の事項を審議する。
- 一 事業計画及び収支予算の決定に関する事
 - 二 事業実績及び収支決算の報告に関する事
 - 三 役員の選任に関する事
 - 四 第6条に規定する特別会員及び名誉会員の推薦並びに第11条に規定する顧問の委嘱に関する事
 - 五 会則の改廃に関する事
 - 六 その他本会の運営における重要事項に関する事
- 第16条 評議員会は、出席者をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 第17条 理事会の任務は、次のとおりとする。
- 一 本会の運営についての計画立案及び評議員会議案の作成に関する事
 - 二 評議員会決定事項の執行に関する事
 - 三 会務に関する緊急重要事項の処理
- 第18条 監査員は、必要に応じて理事会に出席することができる。

第5章 会 計

- 第19条 本会の経常費は、入会金、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。
- 第20条 正会員（準会員であったものを除く。）は、入会金として2,000円、会費として年2,000円を前年度3月までに納入するものとする。ただし、終身会費として18,000円以上を寄附した場合は、爾後の会費は徴収しない。
- 2 正会員のうち、他大学出身で岩手大学大学院人文社会科学研究科を修了した者は、上記金額を半額とする。
 - 3 正会員のうち、岩手大学他学部同窓会正会員は、これを免除する。
- 第21条 準会員は、入学の際、入会金として2,000円、終身会費として18,000円を納入するものとする。
- 2 準会員のうち、他大学出身で岩手大学大学院人文社会科学研究科に入学した者は、上記金額を半額とする。
 - 3 準会員のうち、岩手大学他学部同窓会正会員は、これを免除する。
- 第22条 既納の入会金及び会費は、原則として返還しない。ただし、特別の事情がある場合には理事会の議を経て返還することがある。
- 第23条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第6章 雑 則

- 第24条 この会則の実施に関し必要な事項は、理事会で定める。

附 則

- 1 この会則は、昭和56年6月28日から実施する。
- 2 この会則実施の際、現に準会員たる資格を有する者にあつては、第21条の規定にかかわらず、入会金及び会費の納入を卒業時まで猶予することができる。

附 則

この会則は、平成3年6月30日から実施する。

附 則

この会則は、平成19年4月1日から実施する。ただし、この会則による改正後の第8条第2項の規定は、課程に改組後の卒業生から適用し、改組前の卒業生については、なお従前の例による。

附 則

この会則は、平成19年6月9日から実施する。

附 則

この会則は、平成22年6月12日から実施する。

役員改選

次の方々が選出されました。任期は、次回改選予定の平成24年度の評議員会までとなります。よろしく、お願いします。

(再任)											
会 長	佐原 和典										
副会長	菊地 良一	高橋 享孝	足立 慎悟								
理 事	大澤 雅昭	大志田 穰	晴山 農	藤村 紀行	黒沢 成						
	高嶋 才司	夏井 正悟	棟方 範幸	大谷 敬	松岡 和生						
	佐藤 伸樹	吉田 真二	栗林 健司	清野 陽一							
監 査	小桧山 修	工藤 康身									
幹 事	内堀 哲	内堀真結子									
顧 問	落安 昭三	塩田 勝美	大畑 莊一	牧 陽之助 (学部長)							
(新任)											
理 事	佐藤 泰	尾野澤章子									

岩手大学同窓会連合

同窓会連合の第3回理事会が平成22年6月11日(金)に岩手大学事務局第一会議室で開かれました。七友会からは、佐原和典、松岡和生の両氏が出席し、平成21年度の事業報告、決算及び平成22年度の事業計画、予算等について審議しました。詳しくは、12月発行予定の同窓会連合の会報で報告されますが、年内に行われる事業も多いので主な内容をお知らせします。

平成21年度 岩手大学同窓会連合 決算書

【収入の部】 (単位: 円)

項 目	予算額	収入額	差引額	備 考
会費収入	2,000,000	2,000,000	0	4同窓会×500,000円
その他収入	0	260	260	利息
計	2,000,000	2,000,260	260	

【支出の部】

項 目	予算額	収入額	差引額	備 考
事業費	1,829,993	1,106,608	723,385	
(内約)				
(設立記念事業経費)	879,993	865,908	14,085	①設立記念・講義103,440 (講師謝金・旅費等) ②会報発行 562,468 (印刷費、発送補助費) ③記念展示 200,000 (パネル作成料)
(事業経費)	950,000	240,700	709,300	①ホームページ作成140,700 ②ロゴマーク作成100,000
会長活動経費	100,000	0	100,000	
会議費	2,100	0	2,100	(お茶代)
事務費	29,520	23,005	6,515	(印鑑購入費、事務用品費、 通信費、振込手数料)
予備費	38,387	0	38,387	
計	2,000,000	1,129,613	870,387	

収支額-支出金 = 繰越額	2,000,260	1,129,613	870,647	
------------------	-----------	-----------	---------	--

※事業経費残額 700,000円は「コミュニティネットワーク事業」の経費である。

平成22年度 岩手大学同窓会連合 予算書

【収入の部】 (単位: 円)

項 目	21年度決算額	22年度予算額	備 考
会費収入	2,000,000	2,000,000	4同窓会×500,000円
前年度の繰越金		870,647	(内約) 継続検討事業経費 (コミュニティネットワーク事業) 700,000円 各項目の残額 170,647円
その他収入	260	260	利息
合 計	2,000,260	2,870,907	

【支出の部】

項 目	21年度決算額	22年度予算額	備 考
事業経費	1,106,608	2,432,000	①卒業生・修了生と 学長との懇談会への 協力 380,000円 (旅費: 180,000円) (広告費: 200,000円) ②ホームカミングデ ィへの協力 200,000円 (パネル作成費) ③会報の発行 920,000円 (印刷費: 680,000円) (発送補助費: 240,000円) ④在学生への支援 200,000円 ⑤コミュニティ ネットワーク事業 (継続検討) 732,000円 (サーバ代: 700,000円) (アルバイト代 (アソート勇進) : 32,000円)
会長活動経費	0	100,000	
会議費	0	4,800	お茶代(ペットボトル)
事務費	23,005	34,000	事務用品費、通信費、振込手数料等
予備費	0	300,107	旅費含む
合 計	1,129,613	2,870,907	

主な事業

☆「卒業生、修了生と学長との懇談会」への協力(実施済)

8月7日(土)仙台市で開催予定の「卒業生、修了生と学長との懇談会」を今年度は大学と共に「主催」する。

●各学部同窓会の支部が参加者募集の窓口となる。各学部同窓会長も出席する。

●新聞広告(河北新報)を出し、周知をはかる。

☆「岩手大学ホームカミングディ」への協力

10月24日(日)(不来方祭2日目)開催の「岩手大学ホームカミングディ」を今年度は大学と共に「主催」する。

☆「会報」の発行

各学部同窓会報の発送と合わせて12月末頃に発行予定。

☆在学生への支援

運営委員会で検討する。

藤原暹記念「日本学の集い」を開催して

佐藤 一伯（第10期）

塚本寿美子（第18期）

藤原暹先生（元名誉教授）は平成21年5月中旬より体調を崩され、6月下旬武蔵村山病院に入院、腹膜偽粘液腫という難病であることが判明し、あらゆる医療が施されましたが、7月12日より容態が急変、14日午前9時50分、享年満75歳で逝去されました。葬儀は16日に身内で営まれた旨奥様の藤原サツキ様より連絡を頂戴し、20日、武蔵村山市のご自宅に教え子の佐藤一伯および塚本寿美子（旧姓三浦）がお参り致し、先生が着手中であった『日本学研究』第5号の原稿をお預かりするとともに、今後の編集を託されました。

平成22年春より、藤原暹記念「日本学の集い」（人文社会科学部日本思想史研究室、日本学研究会の共催）の実施に向けて、人文社会科学部の川本榮三郎先生・中村安宏先生、教え子の佐藤・塚本の世話人により準備をすすめ、7月3日（土）午前11時より、岩手大学生協中央食堂2階インシーズンにて開催致しました。当日は藤原サツキ様、長男の努様をはじめ、知人の先生方・教え子、同窓会の大志田稷理事（佐原和典会長の代理）など、合計30名のご出席をいただき、第1部で中村先生が「藤原暹先生の研究業績」、本田敏雄先生（八戸高専名誉教授）が「盛岡時代の藤原暹先生」と題して講演、第2部の懇談会は黙祷、川本先生の主催者挨拶、深澤秀男先生の発声により献杯、懇談（参会者スピーチ）、ご遺族挨拶の次第にて、佐藤・塚本の司会進行により執り行いました。参加者には『日本学研究』第5号（藤原暹先生追悼特集号）を進呈致しました。当日ご参加を戴きました皆さま、誠に有り難うございました。

日本学研究会は、藤原暹ゼミ（日本学）藤之会を母体にして、藤原先生が晩年に私財を投じて創設主宰された日本学に関する交流会であり、事務局を仰せつかった私達はホームページを開設するなど、周知広報に微力ながら努めて参りましたが、とくに日本思想史研究室の藤原ゼミ卒業生各位には、充分な情報伝達ができなかったことを反省しております。

日本学研究会のホームページ（<http://sites.google.com/site/nihongakukenkuyukai/>）は当面運営を継続しますので、藤原先生の思い出などの寄稿をご希望の方は、佐藤（〒029-3103 一関市花泉町老松字水沢屋敷161-2、御嶽山御嶽神明社内、電話 019-82-3382、FAX 82-2461、電子メール sato189@gmail.com）または塚本（電子メール tsukasumi@yahoo.co.jp）までお知らせ下さい。

末筆ながら、「七友会だより」に寄稿の機会をいただきました同窓会の佐原会長・大志田理事に感謝を申し上げます。



8月7日(土)

「第3回 卒業生、修了生と学長との懇談会」を開催

3回目となる「卒業生、修了生と学長との懇談会」は、はじめて大学と同窓会連合が共に“主催”する形で、仙台市のホテルサンルート仙台で開催されました。7日当日は、仙台七夕まつりの最中で、たいへん暑い日でしたが、岩手大学4学部の同窓生約60名が集まりました。七友会では、宮城県内に住所のある300名以上の方に往復ハガキで参加を募ったところ、5名の申し込みがあり役員とあわせて10名ほどが参加しました。（返信のハガキは60通ほどでした。ちょっと少ない気もしますが…）

昭和16年工学部卒業の方から平成17年人文社会科学部卒業まで広範囲の方が集まりましたが、全体的には高齢層の方が多かったようです。

懇談会では、学長や同窓会連合会長のあいさつの後、大学の現状と最近の取り組みについて資料や映像で説明がありました。その後の意見交換では、まず宮崎県での口蹄疫問題を受けて農学部獣医科の評価や今後のあり方等について多くの意見が述べられました。また、受験生への対策や就職への対応等への提言や大学教育の質的向上をはかって独自色を出していく動きなどへの意見も出され、終了間際まで議論が続きました。

懇親交流会では、学部代表で出席していた長野俊一副学部長や黒川國児北桐会会長（体育の担当でした）らを囲んで、学生の頃の話や仕事の話などで楽しいひと時を過ごしました。来年の開催地はまだ未定ですが、近くで開かれるときは是非参加して下さい。詳しい様子は、同窓会連合会報（12月頃発行予定）をご覧ください。

— 学 部 の 動 き —

「平成22年科学技術分野の文部科学大臣表彰」 科学技術賞 理解増進部門

岩手大学の取り組み「子供たちへの体験環境教育による家庭、地域からの理解増進」

平野 紀夫（農学部 准教授）
梶原 昌五（教育学部 准教授）
北爪 英一（人文社会科学部 教授）
清水 健司（工学部 教授）
吉田 純（財務統括グループ 事務補佐員）

21世紀を担う子供たちと一緒に身近な河川、池、水田、排水口等の水に注目し大学内施設を利用した理科実験と講演を通して環境保全の大切さを考える体験活動プログラム「環境と水」を毎年実施している。この活動で得た子供たちの学習成果は、家庭、地域からの理解増進に大いに寄与していることが評価された。

「平成22年度いわて男女共同参画 社会づくり功労者表彰」

竹村 祥子（人文社会科学部 教授）

共同参画関連の懇談会や審議会の委員を務め「盛岡市男女共同参画計画」や県内初の盛岡市「配偶者暴力防止対策推進計画」の策定に携わるなど岩手県の男女共同参画の推進に対する大きな貢献に対し表彰されました。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部的发展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※ 友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報

ふりがな	卒業 専攻	期 (S H 年 (コース 課程)	月卒) 研究室 ゼミ等	封筒にある整理番号 No. _____
氏名 (男・女)				
現住所 〒				
(自宅) TEL FAX	携帯		勤務先名等 (可能なかぎり)	
E-mail				
家族等連絡先 〒				

「同窓会設立30周年記念行事について」

この事については、昨年度から何度か会合を開いて検討してきましたが、ようやく概要が決まりましたのでお知らせします。当初は記念講演等も予定していましたが、講演者の選定や準備等を考慮して、今回は記念交流会のみとなりました。時間のある方は、大学を訪ねたり、旧友と語らうなど自由に過ごして下さい。なお、参加される方には交通費の補助を予定しています。地域別に補助額を決定しましたが、事前に申し込まれた方で、交流会出席確認後、補助金を送るようになります。予算上の制限はありますが、予定がたちましたら、早めに申し込み下さい。記念事業の詳しい内容は、七友会だより32号(平成23年2月頃発行予定)に掲載します。事前申し込みは平成23年3月末日とし、最終申し込みは平成23年5月20日を予定しています。

また、七友会では現在、退官された先生方を中心に出席の可否を伺っています。呼びたい先生には直接対応してもいいですので、はっきり決まりましたら事務局までお知らせ下さい。次号には、出席予定の先生方を紹介したいと考えています。

◆ 記念事業概要 ◆

記

開催日時：平成23年7月2日(土) 17時～20時

開催場所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館

参加費：原則、無料(全額同窓会負担予定)

交通費補助額(事前申し込み者に限る)

・盛岡市内 1,000円 ・岩手県内 2,000円 ・東北地区 5,000円 ・上記以外 10,000円

申込締切：事前申込(平成23年3月31日) 最終申込(平成23年5月20日)

※現在、事前申込を受け付け中です。電話、FAX、E-mail どれでも結構ですが、氏名、卒業期、連絡先、整理番号(同窓会からの郵便物の氏名の下にある数字)をお知らせ下さい。

事務局(TEL・FAX 047-336-3945 E-mail jimu@jinsya.com)

第2回 岩手大学ホームカミングディ 10月24日(日) 岩手大学キャンパスで開催

昨年度、初めて実施しました岩手大学ホームカミングディは、今年度は岩手大学と同窓会連合の主催で開催することになりました。今年は不來方祭と同日開催です。旧友や恩師、後輩との再会や楽しかった大学生活を振り返る良い機会です。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加下さい。

＝イベント＝

1. パネル展示(10:00～16:00)

岩手大学図書館1階ギャラリー及び会議室

現在の岩手大学の取組や昔のキャンパスの風景等をパネル展示いたします。また、その他にも卒業アルバム展示コーナー等を設置いたします。

2. 岩手大学近況報告会(15:00～15:45)

工学部テクノホール

3. 懇親会(16:00～18:00)

岩手大学生協 工学部食堂

会費 3,000円

※ ホームカミングディ専用ページから申し込みです。

4. 岩手大学まるとミュージアム(施設の無料開放)

5. 岩大グッズの販売

岩手大学生協 中央購買店

〈問い合わせ〉

岩手大学総務企画部企画調査課

TEL: 019-621-6994 E-mail: sgyoumu@iwate-u.ac.jp

●●●●「研究室探訪」中??●●●●

学部ができて30余年。学部の構成も変わり、人(教員)も新しい人が増えて、会員からはどんな専門分野を研究している人がいるのかわからない…という声をよく聞きます。そんな方には是非おススメなのが、学部ホームページ内にある「研究室探訪」です。すでに10以上の研究室が紹介されていて、先生の専門分野やどんなことに関心があるのか、あるいは学生の評価などもあっておもしろいですよ。現在の学部を知る手助けになると思いますので、是非、学部ホームページへアクセスしてみてください。

●●●● 3号館、変身中!! ●●●●

学部では、3号館の改修工事が行われています。昨年度、耐震工事が行われ、きれいなレンガ風外観に変わって工事終了かと思っていました。ところが、今年度は内部のリニューアル工事がはじまり、3号館の内部は全て取りはらわれて何も無い状態に……、中庭側に増床する形で、以前とはまったく違った建物になるようです。全容はよくわかりませんが、大学を訪れる機会がありましたらちょっと、覗いてみて下さい。

岩手大学人文社会科学部同窓会

(郵便宛先) 020-8550 盛岡市上田 3-18-34

岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛

(事務局) Tel(留守録)& Fax: 047-336-3945

E-mail: jimu@jinsya.com

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/

http://www.jinsya.com/ (関東支部)